

## 2023 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 大規模一般住民健診における生活の質と運動症状及び非運動症状の関連

### 研究の目的：

Quality of Life (QOL) とは「生活の質」「生命の質」「人生の質」などと訳され、病気の有無ではなくその人の主観的幸福感を意味します。WHO による定義は「その人が生活する文化や価値観の中で、目標や期待、基準、関心に関連する、自分の生活・人生の状況に対する個人の認識」です。QOL の中で健康状態に由来する要素に限定したものを健康関連 QOL (Health Related QOL ; HRQOL) と呼び、医療・保健・福祉領域において利用されています。パーキンソン病患者の QOL の計測法には 39-item Parkinson's Disease Questionnaire (PDQ-39)、8-item Parkinson's Disease Questionnaire (PDQ-8)、Parkinson's disease Quality of Life Scale (PDQUALIF) といった質問紙法が知られています。パーキンソン病患者の QOL に影響する因子についてはオフ時間・年齢・罹病期間・就業状況・非運動症状 (Kurihara et al., J Neurol Sci 2020; 419: 117172)、女性・MDS-UPDRS part I (非運動症状の指標)・MDS-UPDRS part II (日常生活動作の指標) (Ueno et al., Neurol Sci 2020; 41: 2867-2873) といった報告があります。このようにパーキンソン病は運動障害が主症状で運動障害を手がかりとして診断される疾患であり、治療のターゲットもほとんどの場合運動症状であるにも関わらず、患者の QOL には運動症状そのものよりも非運動症状 (認知障害、精神症状、自律神経症状、嗅覚異常など) がより大きく影響することが近年指摘されており、治療目標にも影響を与えています。しかしこの関連を指摘してきた既報告ではパーキンソン病の患者以外の人ではどのような関連があるのかについて検討していません。非運動症状の QOL への影響がパーキンソン病患者で特に強いのか、パーキンソン病患者以外の人と同様であるのかは不明です。そもそも、パーキンソン病患者以外の一般人口で PDQ-8 や MDS-UPDRS part I がどのようなスコア分布を示すのか不明であり、これを確認することにも今後のパーキンソン病の診療や研究の発展のために大きな意義があります。

**研究実施期間：** 実施許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日

**対象となる方：** 2023 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

## 利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である西嶋 春生の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

---

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発(承認番号: 2023-007-1)」において 2023 年に取得された以下のデータ。

ID、性別、年齢、身長、体重、血圧、血液検査（基本項目のみ）、体組成（InBody）  
MMSE（65 歳以上）、体力測定（2 ステップテスト・10m 歩行・立ち上がりテスト・握力）  
嗅覚  
健康調査票  
別冊調査票： B 非運動症状について、J 上肢に関する痛み・機能障害について

---

具体的には、参加した住民すべてを対象として、健康調査票からパーキンソン病の有無を確認します。可能な範囲でレビー小体型認知症の有無も確認します。健康調査票及び別冊調査票の生活の質に関する質問から、可能な範囲で PDQ-8（パーキンソン病患者で用いられてきた QOL の指標）に相当するような項目を抽出しスコアを算出します。別冊調査票の MDS-UPDRS part I（パーキンソン病患者で用いられてきた非運動症状の指標）に相当するアンケート調査の結果を確認し、スコアを算出します。さらに体力測定の結果から、運動機能をスコア化して評価します。これらのデータを基に疾患の有無別に、PDQ-8 に相当するスコアと、MDS-UPDRS part I に相当するスコア及び運動機能を反映するスコアの相関を、統計解析ソフトのエクセル統計を用いて調べます。さらに PDQ-8 に相当するスコアに影響を与える他の因子がないかどうかについても検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-007-1）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願い**」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、

ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

<b>本件連絡先</b>	弘前大学医学部附属病院 脳神経内科 講師 西畠 春生 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5142 Email：hnishiji@hirosaki-u.ac.jp
<b>情報利用停止願送付先</b>	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205